

事例 8 探究的な学習【まとめ・表現】 相手意識・目的意識を高め、多様な他者とつながるためのまとめ・表現の工夫を行った事例

- 学年 第4学年
- 探究課題 地域の伝統文化と、その保存や継承に向けた取組（伝統）
- 主な事例のポイント ※それぞれの実践例にて紹介
 - ①学習を振り返り、次時の学習へと思いをつなげる「まとめ・表現」を行う。
 - ②相手意識・目的意識を高め、効果的に表現する「まとめ・表現」を行う。
 - ③他教科等と関連付け、児童の思いを高める「まとめ・表現」を行う。

ICTを活用した主な学習場面

- ・情報を収集する場面
- ・学習の成果を発表する場面

ICT活用の利点

- ①振り返りなどをデータとして記録することで、蓄積したり共有したりすることが容易になる。
- ②アンケート機能を活用することで、学校内外のより多くの方から情報を得ることができる。
- ③活動の様子を動画や写真に記録し活用することで、より広い範囲に発信することができる。

1 単元名 ふるさと発見隊～亀井の伝統～

2 単元の目標

地域の伝統文化について調べたり、体験したりする活動や、地域の方々と関わる活動を通して、地域の伝統文化のよさや課題に気づき、その継承や発展に向けて自分たちにできることを考え、多様な他者と協働して伝統文化のよさを伝えようとするとともに、地域への愛着を高め、地域におけるこれからの生き方を考えることができるようにする。

3 児童の実態 （略）

4 教材について

本校のある地域には卒業生が多く住んでおり、その方々が地域の文化を支えている。本単元で取り上げる「ささら獅子舞」は500年以上の歴史を有しており、また、「熊井屋台囃子」も100年以上の歴史がある。これら2つの伝統文化は、鳩山町指定無形文化財第1号に登録されている。歴史ある両祭りであるが、近年の少子化に伴い、後継者不足に悩まされている。そのような中でも、保存会の方々が様々な工夫をしながら祭りを存続させようと努力している。地域の伝統文化を取り扱って学習することで、児童が地域の特色をつかみ、地域の方々との関わり合いを通して、地域におけるこれからの自己の生き方を考えることができるようにしていきたい。

5 単元の評価規準

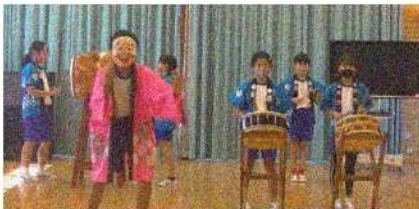
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①「ささら獅子舞」と「屋台囃子」は地域に伝わる伝統文化であることや、伝統文化の継承に力を注いでいる人の思いや願いを理解している。 ②活動を通して調べたり考えたりしたことについて、相手や目的に合わせた表現方法を選択している。 ③地域の伝統文化に関する理解の深まりは、そのよさを伝えるために解決すべき課題について探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	①地域の伝統文化への関わりを通して得た気づきや思いをもとに課題を設定し、解決の見通しをもっている。 ②課題の解決に必要な情報を、手段を選択して効率的に収集している。 ③課題解決に向けて集めた情報を、観点に合わせて比較したり、分類したりして考えている。 ④相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、工夫して表現している。	①課題解決に向けて、自分のよさに気づき、生かしながら探究活動に進んで取り組もうとしている。 ②自分と違う友達の意見や考えのよさ、地域の方々の考えを生かしながら協働して課題解決に取り組もうとしている。 ③地域の伝統文化との関わりを考え、地域における自己の生き方を考えようとしている。

6 単元の指導計画と評価計画(50 時間扱い)

探究の過程	○学習活動(時間) ・ 児童の思考	・ 指導上の留意点 ○ 評価 (評価方法)
	○オリエンテーション(1) ・ 総合の学習の仕方が分かってきた。 ・ これからの学習が楽しみだ。	・ 総合的な学習の時間の進め方やねらいについて確認し、学習に見通しをもつことができるようにする。 ・ 単元を通して、総合ノートや I C T 端末を効果的に活用できるようにする。
課題の設定	課題① 地域のことを知り、課題を立てよう。 ○地域の実態や地域に対する自分たちの意識を探り、課題意識をもつ。(1) ・ 地域にはどんなものがあるかな。	編 P188 指導計画作成の留意事項(1) ・ 板書にウェビングマップを示し、イメージを広げやすくする。 ○ 態 ① (発言・振り返り)
情報の収集	○地域にはどのようなものがあるか確かめるためのタウンウォッチングを行う。(2) ・ 地域にはいろいろなものがあるね。 ・ 田畑が多いな。 ・ 神社は何をすところだろう。	・ 校外で安全に活動できるよう計画を立てる。 ・ 今後の学習を充実させるためにも、児童が様々なものに興味をもてるようなコースやしかけを考える。 ○ 思・判・表 ② (行動・振り返り)
整理分析	○泉井地域がどのような地域なのか話し合い、学習対象を定める。(3) ・ 歴史のあるものが多いね。 ・ 神社が気になるな。	・ 前時で活用した、ウェビングマップをもとに情報を整理・分析できるようにする。 ・ 児童の「学びたい」という思いと、教師の意図にずれがないようにする。 ○ 思・判・表 ③ (発言・振り返り)
課題の設定	○これまでの学習を振り返る。(1) ・ 地域のことが少し分かった気がする。 ・ 地域には歴史のあるものがあることが分かった。 ・ お祭りについて調べていきたいな。	・ 振り返りを次時以降の学習につなげ、より主体的に学ぶことができるようにする。 事例のポイント① 実践例 1 を参 I C T 活用の利点① 毎時間の振り返りを表計算ソフトで記入し、蓄積、共有することができるようにした。 ○ 態 ① (発言・振り返り)
まとめ表現		
課題の設定	課題② 地域のお祭りを知ろう。 ○これまでの学習から課題を設定する。(1) ・ どんなお祭りなんだろう。 ・ お祭りについて詳しく知りたい。	・ これまでの学習と、児童の振り返りをもとにして課題を設定し、連続した課題となるようにする。 ○ 思・判・表 ① (発言・振り返り)

情報の 収集	○地域の祭りがどのような祭りなのか調べる。(4) ・500年も続いているんだね。 ・受け継ぐ人が減っているんだね。 ・僕たちにできることはないかな。 	・ゲストティーチャーを招いて、お話をしていただき、文化財を守る方々の思いや願いに触れることができるようにする。 編 P188 指導計画作成の留意事項(4)
整理 分析 課題の 設定	○調べて分かったことを整理・分析し、活動の方向性を話し合う。(1) ・参加する人が少ないね。 ・もっと広めなければ、なくなってしまふよ。 ・もっと多くの人に知ってもらってお祭りを盛り上げよう。	○思・判・表②（発言・振り返り） ・ベン図を活用して、調べて分かったことを多面的に分類し、課題を明確にできるようにする。 ・自分たちが住んでいる地域のために、自分たちができることは何かを考えられるようにする。 ○思・判・表③（発言・振り返り）
まとめ 表現	○祭りの様子を絵に表し、思いを高める。(4) ・獅子舞の激しさを表現したいな。 ・太鼓の楽しさを伝えたいな。 ・学校みんなに見てもらえるといいな。	・図画工作科との関連的な学習を行い、児童の思いを高めて活動できるようにする。 編 P188 指導計画作成の留意事項(3)
情報の 収集 整理 分析	○よりよいポスターを作るためのポスターの作り方を学ぶ。(2) ・見る人のことを考えて作るとよさそう。	○態①（行動・作成物） ・様々なポスターを見比べて、よりよいポスターとはどんなものなのかを考えることができるようにする。 ○知・技②（発言・振り返り）
まとめ 表現	○祭りを広めるためのポスターを作り、掲示する。(4) ・何を載せるといいかな。 ・どんなデザインにしようかな。 ・どんなポスターにすれば、多くの人がお祭りに来てくれるかな。 	・目的意識、相手意識をもって活動できるようにする。 ・前時までの学習を生かし、見る人のことを考えたポスターを作ることができるようにする。 事例のポイント② 実践例2を参
まとめ 表現 整理 分析	○ポスターの効果についての考えや、祭りに参加した感想を交流する。(1) ・特別に演奏させてもらえてうれしかったな。 ・演奏は楽しかったけど難しいな。	・ゲストティーチャーの方との打ち合わせを行い、子供たちがお囃子を体験できるようにしておく。 ・祭りに参加できない児童などへ配慮をする。 ・自分たちの作成物の効果を確かめることで課題意識を高め、次時以降の学習につなげるようにする。

	・お祭りに来る人はあまり多くなかったね。 ・絵やポスターだけでは、多くの人に伝わらないみたいだ。 	・お礼の手紙を書く活動を取り入れるなど、国語科との関連的な学習を行う。 編 P188 指導計画作成の留意事項(1), (3), (4) ○態①（発言・振り返り）
まとめ 表現	○これまでの学習を振り返り、今後の活動について考える。(1) ・地域には大切なお祭りがあるけれど、あまり知られていないんだな。 ・もっといろいろな人に知ってもらって、お祭りがこれからも続いてほしいな。	・これまでの学習を通して、地域に対する自分の変容について考えることができるようにする。 編 P188 指導計画作成の留意事項 ○知・技①（発言・振り返り）
課題の 設定	課題③ 地域のお祭りを広めよう。 ○これまでの学習から課題を設定する。(1) ・もっとお祭りに参加する人を増やしたいな。 ・どうすれば、お祭りのよさが伝わるかな。	・児童の振り返りを生かした課題設定となるようにし、探究の過程の質を高められるようにする。 編 P188 指導計画作成の留意事項(2) ○態③（行動・振り返り）
情報の 収集	○祭りに対する学校や地域の人たちの意識を調査する。(2) ・学校みんなはどう思っているのかな。 ・保存会の人はどう思っているのかな。 ・夏休み中に見たお祭りはたくさん人がいたよ。	I C T 活用の利点② アンケート機能を活用し、より多くのデータを効率よく集めることができるようにした。 ・地域の現状をしっかりと把握し、そこから課題を設定できるようにする。 ・他の祭りの様子と比較して考えることができるようにする。 ○知・技②（行動・振り返り）
整理 分析	○祭りの楽しさを広める方法を考える。(1) ・お囃子を披露するといいんじゃないかな。 ・チラシを配って多くの人に知ってもらいたいな。	・ピラミッドチャートを活用して、楽しさを伝える方法を焦点化して考えることができるようにする。  ○思・判・表③（発言・振り返り）

	○自分たちの発表をより多くの人に知ってもらうための方法を考える。(1) ・動画なら多くの人に見てもらえるんじゃないかな。 ・動画投稿サイトを活用するのはどうだろう。	・より多くの人に知ってもらうための方法を考えられるように、多様な表現方法を認め、その中から適切なものを選択できるようにする。 ○知・技②（発言・振り返り）
まとめ 表現	○お祭りの楽しさを広めるために、獅子舞やお囃子の練習をする。(4) ・演奏はとても難しいね。 ・地域の人に教えてもらってできるようになったよ。 ・たくさんの人に、お祭りの楽しさを知ってもらいたいね。 ・たくさんのお祭りに来てもらいたいな。 	・音楽科との関連的な指導ができるようにする。 ・ゲストティーチャーを招き、演奏の仕方や踊り方を指導してもらえるようにする。 編P188指導計画作成の留意事項(3),(4) ・発表の様子を動画に残し、自分たちで何度も見直してよりよくできるようにしたり、より多くの人に見てもらえように考えたりできるようにする。 ○思・判・表④（行動・振り返り）
情報の 収集 まとめ 表現	○動画の作り方を学び、編集する。(4) ・これなら自分たちでもできそうだ。 ・多くの人に見てもらいたいね。 ・自分たちの発表について、感想ももらいたいな。 	ICTの活用の利点③ 活動をより多くの人に見ってもらうために動画を作成し、動画投稿サイトで公開(限定公開)した。 ○思・判・表④（行動・作成物）
整理 分析	○発表を見てもらった感想や意見を集め、整理する。(1) ・色々な意見をもらえたね。 ・意見をもとによりよくしたほうが、楽しさが伝わりそうだね。 ○自分たちの発表を見てもらった感想や意見をもとに、よりよくする方法を考える。(1) ・演奏の仕方をもっと工夫した方がよさそうだ。 ・緊張するけど、自分たちが楽しまないと楽しさは伝わらないね。	・PMIチャートを活用し、感想や意見を多面的に分類できるようにする。 ○思・判・表③（発言・振り返り） ・前時のPMIチャートを活用し、改善方法について考えられるようにする。 ・ダイヤモンドランキングを活用し、自分たちのお囃子を改善するための方法を焦点化できるようにする。 ○思・判・表③（発言・振り返り）

まとめ 表現	○発表をよりよくするために練習を重ねる。(4) ・みんなにもっとお祭りを知ってもらいたいな。 ・前回よりいい発表ができそうだ。 ○地域の方に向けて発表する。(2) ・緊張したけど、楽しんでもらえたね。 ・これまでの活動の成果が発揮できたね。 ・うまく発表できたよ。 ・これでたくさんの人がお祭りに来てくれるといいな。	・前時の学習をもとにして、よりよい発表となるようにする。 ・音楽科との関連的な学習となるようにする。 編 P188 指導計画作成の留意事項(3) ○態②（行動・振り返り） ・活動を行事に位置付けることで、より多くの人に自分たちの発表をみてもらえるようにする。 事例のポイント③ 実践例 3 を参 ・見てもらった感想をもらえるようにし、児童の意欲や次の課題につなげることができるようにする。 ○態②（行動・振り返り） 
情報の 収集 整理 分析	○発表の感想をもとに、自分たちの活動の成果を確かめる。(2) ・楽しさが伝わったみたいだ。 ・「来年のお祭りに参加したい」という人が結構いるね。 ・まだ楽しさが伝わり切っていない人もいるね。	・I C T端末のアンケート機能を活用し、効果的に情報を集めることができるようにする。 ・自分たちの活動が、他者にどのような影響を与えたのかをしっかりと分析して、次の課題意識をもたせることができるようにする。 ○知・技③（発言・振り返り）
まとめ 表現	○これまでの学習を振り返り、地域における自己の生き方について考える。(1) ・自分たちがやってきたことが、地域のためになったかな。 ・来年のお祭りには、たくさんの人に来てもらえるといいな。 ・これからも地域のお祭りを大切にしていきたいな。	・学習を通した自分の変容を振り返り、文章にすることができるようにする。 ・地域におけるこれからの自己の生き方について考えることができるようにする。 ○知・技③（発言・振り返り） 編 P188 指導計画作成の留意事項(5)

【実践例 1】学習を振り返り、次時の学習へ思いをつなげる「まとめ・表現」

本単元では、表計算ソフトを活用して毎時間の振り返りを行った。表計算ソフトでの振り返りは、友達の考えを一覧で見ることができたり、データの蓄積が容易になったり、自己の変容や成長に気付きやすかったりするなど利点が多い。友達の考えに触れることができることは、授業の中では気付けなかった友達の考えに触れ、学習したことについて多面的・多角的に捉え直し理解を深めることにつながる。また、自己の変容や成長に気付くことは、さらなる学習意欲の高まりも期待できる。

1 0 / 1 1

A児の振り返り

伝統文化の魅力を知り、それを広めていくとともに、今後も関わっていこうとする様子へと変容したことが分かる。

地域のお祭りを広める方法を考える学習から、地域のお祭りを効果的に広める方法を考える学習に変わっていることが分析できる。

【実践例2】相手意識・目的意識を高め、効果的に表現する「まとめ・表現」

情報を整理・分析した後、それを他者に伝えたり、まとめたりする学習を行うことにより、①一人一人の考えが明らかになる。②課題がより一層鮮明になる。③新たな課題が生まれる。この「まとめ・表現」の過程においては、「相手意識や目的意識を明確にしてまとめたり、表現したりすること」が留意点の一つとして挙げられる。

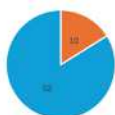
伝統文化について知った児童たちは、まず校内における他学年の児童の意識調査を行った。ICT端末のアンケート機能を活用し、効率的に情報を集めることができた。アンケート結果から、校内の他学年の児童は祭りの存在や魅力を知らないという実態に気付くことができた。そのことから、祭りの魅力を知ってもらうために、ポスターを作成し、掲示することにした。全学年が見ることから、文字の大きさや言葉遣いなど、国語科で身に付けた資質・能力を活用・発揮するとともに、色使いの工夫や写真、地図等を活用し、誰が見ても分かりやすいポスターを目指して活動に取り組んでいった。

ICTの活用【アンケート機能】

祭りに対する他学年児童の意識を調査した結果。

結果の概要

1. 「泉井ささらししまい」というお祭りを知っていますか。



2. 「泉井ささらししまい」を見たことはありますか。



3. 「泉井やたいばやし」というお祭りを聞っていますか。



より多くの人から効率よく情報を集めることができた。また、集めた情報をもとにして、次の活動の方向性を定めたり、新たな課題を見出したりすることができた。

低学年の子も見るから、振り仮名を振るといいよね。



相手意識を明確にして、ポスターを作成したり掲示したりする様子。

写真を貼ったり、地図を載せたりすると分かりやすいんじゃないかな。

昇降口に貼れば、たくさんの人に見てもらえそうだね。



ポスターを見て、たくさんの方がお祭りに来てくれるといいかな。

しかし、実際にお祭り当日に現地へ向かうと、ポスターの効果はあまり感じられず、児童たちはお客さんが増えていない現実と直面する。このことから、ポスターだけでは、お祭りの魅力を広めることができないと考え、新たな活動へつながっていった。

新たな表現方法として、動画サイトをヒントに動画づくりに取り組んだ。動画を公開することで、より多くの人に祭りの魅力を広めることができた。町の伝統文化の「魅力を広める」という目的意識を継続的に明確にしたことで、児童が表現方法を選択して活動できた。

その後は、自分たちの活動が「魅力を広める」ことにつながっているかという視点で意見や感想をもらい、それをもとに活動の質を高めていくことにつなげることができた。

ICTの活用【動画の作成、公開】

自分たちの発表を動画に残し、動画サイトに投稿し、より多くの方に見てもらった。



【実践例3】他教科等と関連付け、児童の思いを高める「まとめ・表現」

総合的な学習の時間においては、各教科等で身に付けた資質・能力や総合的な学習の時間で身に付けた資質・能力を相互に関連付けるような学びの展開が重要である。特に、まとめ・表現の過程において、各教科等で獲得した表現方法を積極的に活用できることが考えられる。また、総合的な学習の時間と各教科等とを関連的に展開することで、さらなる資質・能力の育成が期待できる。

これまでの活動から、伝統文化の魅力を広めるために、動画での発表を通して得た意見や感想をもとに、自分たちの発表を改善していくことになった。改善するにあたっては、音楽科「地域にわたる音楽に親しもう」や「日本の音楽でつながろう」などに関連させ、日本の楽器の音色や扱い方、日本の音楽のリズムなどへの理解を深めた。また、その学習の中で、それらの音楽を生かしたり、自分たちの発表と比べたりしながら改善を重ねていった。

ICTの活用【動画による記録、見返し】

自分たちの練習場面を動画に残し、何度も見返すことで、よりよいものにしていくことができた。



もっと笑顔で演奏したいね。

踊りの面白さはこれで伝わるかな？

最終的には、保護者の方や地域の方が大勢集まる公開行事において、自分たちの学習の成果を発表し、町の伝統文化の魅力をより多くの人に広めることができた。



公開行事にて自分たちの学習の成果を発表する様子



祭りの魅力が伝わった気がしたよ。

緊張したけど、楽しくできたよ。

この他にもお世話になった方々へ、国語科の学習を活用して手紙を書いたり、図工科の学習を活用して、お祭りの様子を絵に表現したりするなど、職員全体で年間指導計画を見直し、単元配列表を作成するなどし、各教科等との関連的な学習を計画的に実施してきた。

単元終末におけるB児の振り返り

たくさん調べて動画を撮ったり、ポスターやアンケートも作ったりして、いろいろな人にお祭りのよさを伝えられました。 ～中略～ 来年もお祭りに参加していきたいです。

単元終末におけるC児の振り返り

大切なお祭りがこれからも続き、この町がよりよくなっていくためには、自分たちも動かなくってはいけないなと思いました。いろいろな方と一緒に今後のことを考えていきたいです。

このように、児童とともに単元を構築し、思いを高めながらまとめ・表現の活動を行うことを通して、連続発展する探究的な学習を展開した。そうすることで、児童は自分たちの活動の成果を実感し、地域への愛着を高め、地域における自己の生き方について考えられるようになった。これからは学校や地域全体を巻き込み、総合的な学習の時間の充実を図ることができれば、児童の資質・能力のさらなる育成につながると考える。